

訪日誘客支援空港の認定等に関する懇談会（平成 29 年度第 1 回フォローアップ）
議事概要

日時：平成 30 年 3 月 2 日（金）13：00～16：30

場所：2 号館共用会議室 2B

1. 訪日誘客支援空港の目標達成状況等について

- 事務局より、インバウンドの概況（特に地方空港について）、平成 29 年度における訪日誘客支援空港の取組状況、平成 29 年度フォローアップ等について説明。

2. 平成 29 年度の取組に係る個別空港からのヒアリング

- 14 の訪日誘客支援空港における平成 29 年度の取組等について、懇談会委員によるヒアリングを行った。

- 懇談会委員からの主なご質問・ご意見は、下記の通り。
 - ・路線誘致の際には、ターゲットとする国や航空会社を定量的な分析を活用しつつ具体化すべきである。
 - ・インバウンド旅客が滞在中にどのような行動や消費をしたのかを分析すべきである。
 - ・イベントを好機として、重点的にプロモーションを行う予定はあるか。
 - ・周辺のお空港との連動性を高めるべきである。
 - ・設定した目標の妥当性の検証及び目標と実績が乖離した要因の分析をすべきである。
 - ・今年度目標未達となった要因の分析と来年度の挽回に向けた戦略を教えてください。
 - ・旅客の利便性向上のため、2 次交通の改善に取り組むべきである。
 - ・今年度新規就航した路線の維持に向けた取組を教えてください。
 - ・外国人旅客が増加するなか、グランドハンドリング体制や CIQ 体制についての現状を教えてください。それらの体制がボトルネックとなっていないか。
 - ・東アジア 4 市場（中国、韓国、台湾、香港）以外の路線誘致活動の状況を教えてください。

3. その他

- 今後の予定について、3 月中下旬に訪日誘客支援空港の認定等に関する懇談会（平成 29 年度第 2 回フォローアップ）を開催し、各空港からのフォローアップシートやヒアリングを踏まえた各委員による評価を基に、平成 29 年度の評価の取りまとめを行うこととした。